



岐大通 2013

2013 J.League Division2 第3節 ザスパクサツ群馬 戦

3/17(日) 19:00~
@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

3/17号

編集発行: 『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく & 吉田 鑄造

today's guest : ザスパクサツ群馬 2012 J2 12勝 11分 19敗 勝ち点 47 第17位

群馬県リーグで活動していた『リエゾン草津』が母体。2002年から『ザスパ草津』として強化開始。関東リーグ2部時代に「Jリーグ加盟を標榜するクラブに対する優遇措置」を活用して地域リーグ決勝大会に参戦し優勝、JFL昇格。JFL年目の2004年シーズンで3位の成績を収め、翌年からJ2(昇格はJFL2位までだったが、2位のHondaFCと勝ち点・得失点差が同じだった)。同年の天皇杯ではJリーグ王者の横浜F・マリノスに勝ちベスト8。J2での最高成績は2008年と1年の9位。2013年からチーム名を「ザスパクサツ群馬」に変更。(吉田 鑄造)

今年こそは開幕ダッシュを...と願ってはみたものの、やはり残念ながらそうはいかなかった。開幕から2試合の対戦相手が、昨年4位の横浜そして昨年J1の神戸だったとはいえ、逆に開幕2連敗、しかも無得点・6失点と苦しいスタートになってしまった。やはり、昨年のチームの(そして今年も)大黒柱である服部選手が、開幕直前のPSMで負傷離脱してしまった影響が大きいと言わざるを得ないだろう。しかし、このような事態はいつでも想定されること、出場できる選手が全力を尽くすしかない。また、4節の長いシーズンを戦う上で、開幕から厳しい相手と戦うことで、チームの問題点を最初から洗い出すことができるかとポジティブに考えたい。

6失点を許している守備にも問題はあろうが、最大の課題は攻撃面、特に守備から攻撃への素早い切り替えだろう。粘り強く守って相手からボールを奪っても、攻撃しようとした途端にパスやトラップミスで再びボールを奪われて守りに入らざるを得ないのであれば、堅い守備にもほころびが出てしまう。また、前線へ効果的にボールが運ばない、あるいは攻撃の形が作れていないのは、(なんと)2試合でコーナーキックがゼロという結果から見ても明らかだ。昨シーズンも得点力不足(計27点)が深刻な問題だったが、その中でも数少ない得点源だった佐藤光一(10点)と樋口寛規(6点)を含め、得点で言えば19点分が欠けた穴を埋めることができていないというのが、今の現状だろう。

さて、今節の対戦相手は、今シーズンからは「ザスパ草津」から名称変更した「ザスパクサツ群馬」だ。チーム名も新たに秋葉新監督の元で再スタートを切ったチーム、開幕から(2引き分けではあるが)未勝利で、勝利を求める気持ちは強いだろう。しかし、我々もホーム長良川で何度も無様な試合をする訳にはいかない。それはチーム自身も我々も判っているはずだ。今節こそ、みんなの力を集中して、今シーズン初勝利を勝ち取る。

また、この2試合で攻撃面でも守備面でも課題が見えてきた以上、行徳監督はメンバーを変更してくることが予想される。チームの活性化・底上げの為に、長いシーズンを戦う上ではメンバーの入れ替えは必要だ。新たに起用される選手の活躍にも期待したいところだ。

(ささたく)

2013J2

順位表 第2節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

1	神戸	6p	+5	5	0	A
2	福岡	6p	+2	3	1	
3	G大阪	4p	+2	6	4	
4	横浜FC	4p	+2	4	2	H
	愛媛	4p	+2	4	2	
6	水戸	4p	+1	2	1	
	松本	4p	+1	2	1	
	鳥取	4p	+1	2	1	
9	千葉	3p	+2	3	1	
10	富山	3p	0	2	2	
11	札幌	3p	0	1	1	
	栃木	3p	0	1	1	
13	京都	2p	0	3	3	
14	群馬	2p	0	1	1	
	岡山	2p	0	1	1	
16	徳島	1p	-1	2	3	
17	北九州	1p	-1	1	2	
18	東京V	1p	-1	0	1	
19	長崎	1p	-2	2	4	
20	山形	0p	-3	2	5	
21	熊本	0p	-4	1	5	
22	岐阜	0p	-6	0	6	

【ユース】日程が発表になりました

我らがF C 岐阜ユースU-18(以下F C 岐阜ユース)が今年参戦するG1リーグの日程がもう県サッカー協会の公式サイトで発表されました。例年G1リーグは8チームによる総当たり2回戦・全11節でのリーグ戦ですが、今年は岐阜県のU-18の選抜チームもG1リーグに参加するようで、全9チームによるリーグ戦となります。そして岐阜先発U-18の試合の一部が春休みにも設定されている為、例年より早い発表となったようです。

F C 岐阜ユースの初戦は4月13日(土)に各務原高校との対戦となります。各務原高校はここ数年岐阜県の高校サッカー界の覇を競い合っている強豪チーム。いきなり初戦から大変な試合となりますが、胸を借りるつもりで挑んでいって貰いたいです。(大事な試合だけど、この日は見に行けない.....涙)

頑張れよ!応援しているから!!FORZA!F C 岐阜ユース!!
(シュナ)

岡田歯科医院

岐阜市加納新本町 1-23
tel:058-273-8998



本庄工業株式会社

<http://www.honjp-woodream.com/>

ALADDIN

何も無い店だけど...

心の花が咲く...

何も無い店だけど...

心癒される...

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

次回 HomeGame

第5節 徳島ヴォルティス戦

3/24(日) 13:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

投稿募集!

gidaidohr@hotmail.co.jp

【第1節】岐阜 0-2 横浜 FC

あのニッパツ三ツ沢から4ヶ月。昨季の最終節でやりあった相手との開幕戦は、何か微妙な感じもしたが(笑)、とにかくにもシーズンの始まり。みんなと喜びを分かち合えるのを期待していたのだが残念な結果に終わってしまった。

特に、攻撃面での連携というか流れが継続できず、好機になりかけても単発や不発に終わってしまったのがサビシイ。平は前線からの守備にカラダを張ってくれたし、美尾もタメやアクセントをつけようとしてくれたように見えたが、なかなか決定機には至らず。シュート、それも枠内に飛ば危険なシュートはなく、相手のGKはカラダがあったまらなかつたんじゃないのかな?前半の平のシュートとオイちゃんのサイドチェンジにはワクワクしたけど、それくらい?

反対に守備、特に両CBは大活躍。2点は取られたけど、今季の計算ができる内容だったと思う。とりわけデズの強さには驚かされた。聞いていた話だと、足元がウマイということだったので(実際にウマかったけど)、あの迫力と力強さは今までのウチにはいないタイプ。関田とのコンビを熟成させてほしいし、そこに秀人や新井が絡んでレギュラー争いを激しくしてもらってレベルの向上を図ってほしいね。

まだまだ、始まったばかりだし、服部もいないし、何一つ固まっていけないけれども、この試合でサブだった選手もベンチ外だった選手も必ずチャンスはもらえるはず。昨季の監督の起用法がそうだったし。ふだんから精進して、訪れた好機を逃さないようにしてほしい。そうすることがチームのレベルアップにもつながると思う。ボクも全力で戦い、勝利にどん欲な選手を最後まで応援していきます。今季もよろしく!(ぐん、)

【第2節】神戸 4-0 岐阜

初めて訪れた(今年からのネーミングライツだけ)ノエビアスタジアム。最寄りの地下鉄の駅から歩いていけるほど近く、外は雨が降っているというのに、開閉式屋根を備えた全天候型で快適に観戦でき、しかもサッカー専用スタジアムという豪華さ。スタジアムグルメも(まあ長良川ほどではなかったが)充実していたし、屋根が閉じているから更に声援が響き渡り、これがJ2かと思うくらい、迫力ある良い雰囲気スタジアムだった。否が応にも気分が高まる岐阜サポたち。しかし、待っていたのは「元」1クラブとの実力差」という、厳しい現実だった。

「選手個人の力量差」と言ってしまうとそれまでだが、明らかに「速さ」が違っていた。単にボールを持って走るスピード等が速いという意味ではなく、判断力の速さ、動き出しの速さ、攻守の切り替えの速さ等、プレーのレベルが全く違っていた。パスも、(例えば)岐阜が足元にボールを出して待っているのと異なり、神戸は空いている選手が走っている前を出していたし、ボールを奪ってから切り替えも速かった。

1点目の失点はクリアミスからだったが、難しいボレーを決めた#11田代の技量を認めざるを得ないし、2点目はセットプレーからのボールを、デズモントを抑えて高い打点でのヘッドで押し込んだイ・グアンソンのフィジカルが凄かった。3点目も4点目も、似たような状況はウチにもあったが決められず、しかし確実に神戸には決められ、個々の能力でもチーム戦術でも大きな差を見せつけられた結果になってしまった。GK時久を始めとする守備陣に何度も助けられていた事を考えれば、その差は(とても悔しいけれど)もっとあったのかもしれない。

前後半ともに無得点に終わってしまったが、それでも前半と比べれば、後半は選手たちの「何とかしたい」と言う気持ちが見えたのは評価したい。是非とも、次節は得点、そして勝利という結果で、みんなが喜び合える試合にして欲しい。(ささたく)

この日。おだやかな一日になるはずという週間天気予報はアッサリと裏切られ、とんでもない強風と断続的な雨にたたられる散々なお天気。週末だけ天気が崩れた昨季のことを思い出したし、これが長良川なら雨具、防寒具が必須なところだが、神戸のホーム・ノエビアスタジアムは屋根付きの全天候型。中に入れば、雨はもちろん風もほとんど感じないという、実にうらやましい環境。閉鎖空間であっても芝生の根付きも問題なさそう。たしか、オープンは200年。日韓W杯前年のキリンカップ、日本代表とホンジュラス代表だったかの試合がこけら落しで、その時を含めW杯まではサイドスタンドの屋根はなかったと記憶している。その試合を現地で観戦しているので間違いのないと思うのだけれど少し不安だ(苦笑)。まあ、観戦するには文句のつけようがなかったんだが.....。

完敗。試合の内容はそう表現するしかない。まるで、スタジアムの外と同じような厳しい状況。個人としても組織としてもテクニックや戦術眼には差があってもしかたがないと思っていたけど、フィジカルでも差を見せつけられてはいかんともしがたい。プレスの迫力や運動量で食い下がれないとこういう結果になってしまうのは当然かな?それでも、キックオフから失点するまでは何とか形を作れていたように思うが、それ以降は耐えしのぐことができなかつた。しかも、その1点目をミスから失ったのがキツかった。簡単にクリアすると思ってたら、ボールが足につかなくて相手に渡り、それでもサイド奪い返してクリアしようとしたが蹴りそこなってまたしても奪われての失点。相手FWのジャンピングボレー、おまけにバックステップを決めてのソレはお金を払って見る価値のある鮮やかなシュートだったが、正直取られるはずのない失点だった。2失点目については言うことがない。あんな打点から叩き付けられて、それを防いでいたら神認定レベル。その後は終始圧倒されての4失点。ネットを揺らされたのは5回だったがオフサイド。ほかにもバーやポストに救われたり、時久の懸命なセーブがあったりと神戸サポには堪らない試合だったと思う。ある意味、開幕2戦目でよかったと言えるのかもかもしれない。

ただ、ボクの目には開幕戦よりもよくできていたように見えた。いや、ここまで書いてきたことと全然違う!と指摘されるのは承知の上だし、現地での観戦仲間の同意も得られなかったが、攻撃では、瞬間的にはあるけど、それなりの形を作っていた場面もあったように思う。監督の目にも開幕戦よりは収穫があるように映ったのではないか。とはいえ、2試合でコーナーキックが1本もない状況というのは全くいただけないが...(苦笑)そして、枠内に飛んだ勢いのあるシュートもない。フリーの場面で大きく宇宙開発された時の脱力感もう十分堪能した。キツイけれど、少ないチャンスを実際に決めていかないと勝利は覚束ない。とにかく、群馬戦ではゴールをよろしくお願いします!(ぐん、)

「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休:火曜(定休日が変わりました!)

